

(別紙2 - 1)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 8 月 18 日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270102629		
法人名	有限会社ヘルパーステーションぬくもりの家		
事業所名	グループホームぬくもりの家		
所在地	長崎県長崎市大手2丁目1番63号		
自己評価作成日	平成24年8月10日	評価結果市町受理日	平成24年10月19日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217
訪問調査日	平成 24 年 9 月 27 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

古い木造の二階建てですが、古いおもむきと所々今風な雰囲気があるホームです。日々、入居者と職員が機能維持の為に機能訓練と生活リハビリ、会話を多く交えての脳への刺激体操などを一人ひとりに応じて行っています。ホーム内は、入居者・職員の笑い、話し声や歌声が響きわたり、憩い・安らぎの場として自由に過ごして頂いています。又、行事や日常生活、家族・知人とのふれ合いを大切に、その時々を共に喜び・笑いながら過ごしていけたらと思っています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは、開設時の理念を解かり易く「ぬくもり・笑顔・やさしさ」の文言を各所に掲示し、利用者の思いと状況に沿ったケアを評価して、追及しながらサービスの更なる向上に努められ、利用者は職員のケアに安心感を得られ穏やかに過ごされている。

また、管理者は防災において、運営推進会議の消防書署の参加により、地域災害への理解と協力を強固に高め、迅速な取り組みにより地域の高齢者への意識の向上にも繋がっている。職員相互のチームワークと迅速な対応により、今後も更に職員のケアサービスの向上に期待したい。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所当初からの理念と職員の基本理念を、職員がいつでも目にふれる場所に掲示し、共有しながら実践している。	解かり易く理念を文言で各所に掲示、日々ケアの実践において理念を意識した取り組みの状況が利用者との関わりで窺える。時折、唱和もされている。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育所の園児との交流やご近所との自然な会話、駐車場を利用して頂いたり、気軽に声をかけてもらっている。	自治会長、民生委員との協力関係の継続や保育所との交流を取り組まれている。また、近隣住民への周知も向上して協力関係も構築されている。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の保育所との交流を始め、運営推進会議や外出を通じて、認知症高齢者の方々の理解や支援を頂いている。	/	/
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回会議を実施し、ホームの状況、活動報告を行い意見交換をしている。貴重な意見を頂きサービスに活かせるようにしている。	消防署より会議へ参加を頂き、避難訓練の報告を反映して、自治会長・副会長・市職員・地域住民の方々と迅速な避難方法等について議論をされている。	
5	4	<b>市町との連携</b> 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	長崎市市役所等の情報や資料は、必要に応じて閲覧し情報を共有している。相談・確認事などあれば、気軽に連絡するようにしている。運営推進会議にすこやか支援課の担当者、包括支援センター職員の方が交互に参加され、情報の交換を含め協力を頂いている。	市及び地域包括支援センターの情報収集に努めて、不明な点は確認のためすぐに問い合わせをされている。介護相談員も受け入れられている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>介護の専門職として、危険があることの自覚を常に持ち、限られた条件の中でもあきらめずに新しい知識・技術・情報を取り入れながら「今やれることから」改善を図り、取り組んでいくことが出来るようにしている。</p>	<p>玄関の施錠はなく、利用者一人ひとりの安全への配慮と、拘束のない支援をされている。食後は居室で過ごされたり、共用空間でケアを受けられている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会へ参加し学んだことを会議で報告、話し合い、常日頃より理念に添ったケアに心がけ虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部や内部の勉強会へ参加し学び、会議で報告、話し合い理解を深めている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の締結、変更、解約の際は、時間を頂き説明を行っている。疑問や要望等の確認も行い理解を頂いている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族へは面会の際に近況の報告を行い、何か要望等はないか確認するようにしている。 利用者には、常日頃より思いや希望などないか聞いている。(ホームにはご意見箱設置、外部機関の連絡先を説明している)</p>	<p>家族への説明と確認を得ることを大切に、お便りや電話等で報告をされている。利用者本位に行事参加や病院受診等家族との協力関係の構築に配慮されている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議の時や面談の時に意見・提案など聞き対応できる事から取り組んでいる。会議時、時折脱線し話題が違う方へ行くときも多いが、職員全てが自分の意見・考えを出し合っており、充実した時間を共有している。</p>	<p>職員のケアサービスの向上に向けて、調理技術や緊急時の対応等研修を選択して受講後、報告して内部研修に努められている。</p>	

12	<p><b>就業環境の整備</b></p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>人事考課制度を導入しており個々の能力・実績の評価を行い、代表者、管理者・職員それぞれが振り返りながら、意識の向上や働きやすくやりがいがある環境・条件の整備に努めている。</p>		
13	<p><b>職員を育てる取組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の力量を把握し、研修を受けられるよう配慮している。又、職場で定期的に勉強会を行い知識の向上に努めている。</p>		
14	<p><b>同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループ内外での研修を通じて交流の機会をつくり、サービスの質の向上へつなげている。</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人との面談・談話時に、ゆっくりと話を聴き安心できるように努めている。又、利用開始前の担当ケースワーカー等へ確認し、関係づくりがより良くなるように努めている。</p>		
16	<p><b>初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の不安・心配事など確認し、思いに添えるように努めている。</p>		
17	<p><b>初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族の状況を確認し、その方にとって必要なサービス、支援は何かを話し合い対応に努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>普段の会話や行動・表情を敏感に感じとり日々、刺激しあいながら過ごし支え合っている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会の際や電話連絡にて、近況を報告し状況によっては相談しながら、本人にとって何がいいのか一緒に考え支援している。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの方、知り合いの方が来られた時は、居室でゆっくり過ごして頂いたり、リビングでも皆さんと和気あいあいと談話され過ごして頂いている。又、電話での連絡を行い本人と会話ができるように支援している。</p>	<p>利用者の受診や衣類の交換への声かけ及び墓参り、外食等馴染みの場への外出の機会が持てる様に家族との関係継続支援の働きかけをされている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一人ひとりの性格や状態を理解して入居者同士の関わりを大切に支援している。又、職員が間に入って楽しく過ごせるように支援し、全員で参加できる唄や体操などで関わり合い、支え合える雰囲気作りにも努めている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了しても、退居後の施設・病院へ会いに行きお話などし、様子を伺っている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の希望や家族の希望・情報を提供して頂き、「今を、昔を大切に」「これからのことを考え」本人の思いに添えるように努めている。</p>	<p>利用者の思いや生活支援について、「できること」を家族に相談して、訪問マッサージ・サービスの利用で気持ちの安らぎをえられている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用開始時に本人・家族へ話を聞き、ぬくもりの家で安心して過ごせるように情報を活用し、又、情報ツールを利用し本人が楽しく過ごせるように、多方面より把握出来るように努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの一日の流れに添って、本人のその日の体調やペースに合わせて過ごして頂いている。日々様子や変化など個人日誌・申し送りノートへ記載し現状の把握に努めている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族へホームで「どう暮らしたいか」等確認し、ホーム全体で話し合い介護計画を作成している。モニタリングの際は、計画以外での身体面・精神面の評価も行い変化がないか確認している。</p>	<p>短期目標を目途にサービスの実施状況の経過を3ヶ月ごとに評価して、職員の担当者会議の意見も考慮に入れて次の介護計画の充実を図り作成されている。</p>	<p>介護計画を共有した職員のケアサービスの統一性を図る目標に沿って、更なる向上への実践を期待したい。</p>
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々様子・ケアの実践を介護計画に添った個人日誌に記入し、申し送りノートを含め、情報の共有を図り介護計画へ反映している。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の状態と家族の要望に対して、他機関と連絡を行い支援できるようにしている。眼科や皮膚科などは、その時々に応じて医療機関を変えている。</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>デイケア・訪問歯科、訪問マッサージなど個々に合った地域資源を活用して、安全で豊かな暮らし、楽しみが持てるように支援している。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人が信頼しているかかりつけ医の受診が出来るように、家族の協力を得ながら適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者と家族が信頼して相談できる、かかりつけ医を継続した支援を心掛けられている。訪問歯科、訪問診療にて利用者の安定したケアに配慮されている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関の看護職員と連携し相談できるようにしている。入居者の体調の変化があれば、その都度連絡している。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>安心して病院での治療ができるように面会に行き、精神面のフォローと状態の把握を行い、その都度家族へ連絡をするようにしている。医療機関との情報交換・相談も行っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した時や終末期に向けた方針については、入居された段階で説明を行い同意を頂いている。状態によっては、主治医・家族と相談、話し合いを行うようにしている。</p>	<p>利用者の状態の変化に伴い、主治医の指示を受けて「状態についての説明と対応について」の文書を家族に説明と同意を得て、特養等の方向性を話し合われている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に勉強会を行い急変時・事故発生時に対応できるようにしており、何時でもマニュアルや連絡体制が確認できるようにしている。ヒヤリハット、事故後は対応・対策を話し合い、一定期間後再評価を行っている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回の避難訓練と毎月の会議の時にホーム全体で訓練・シュミレーションを取り入れている。運営推進会議を利用して地域の方々と協力体制を築いている。</p>	<p>スプリンクラーの設置はないが、消防署職員による実地観察により、初期消火及び地域住民の協力要請等利用者の安全確保の指導を得られている。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格や精神面を理解し、言葉つがいや対応に努め接するようになっている。  利用者の服装や整髪を自分でできる範囲でも整えられるように支援されている。周囲に配慮して、一对一の関わりを大切に利用者とは笑顔で声かけに努められている。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとり接している時やゆったりと過ごしている時、和気あいあいと過ごしている時など、場面をかえ本人の思いや希望が自然にできるように働きかけている。
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの一日の日課やペースを把握し、その時々で本人へ確認し希望に添えるように支援している。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝、鏡の前で髪型を整え目元・口元のチェックをして頂き、色や好きな柄などは本人、又は家族へ確認しその人らしい身だしなみができるように支援している。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の楽しみの一つである「美味しい物を美味しく食べる」ことが出来るように、栄養バランスを考えながらも好みを重視し提供している。食事の準備や興味がある方には、手伝って頂き、楽しく充実した時間を過ごして頂いている。  菜園の収穫野菜を彩りに、細やかな調理の工夫と品数に職員の愛情と熱心さが窺える。職員も共にゆったりとした食事の雰囲気ですべて完食されている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリーチェックなどはしていないが栄養バランスを考えて献立を立てている。食事量と水分量には注意をし、そのつど記録、状態の変化等があった場合は対応し、栄養・水分が確保できるように努めている。



42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>起床・毎食後に口腔ケアを実施している。個々の状態にあった口腔ケアを行って頂き、仕上げが必要な方は、歯科衛生士の指導のもと行い衛生と清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄パターンを把握し排泄のチェックのもと、トイレでの排泄を支援している。パット・リハビリパンツの汚染を減らし、清潔保持にも努めている。</p>	<p>トイレでの排泄支援を重視して、利用者ひとり一人を把握のうえ、トイレ誘導をされている。体重管理、過食、必要に応じて排便調節も配慮されている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>身体の状態と排便状況を把握し、トイレでの排泄と自立に向けた支援、排便が困難な方は主治医の指示のもとコントロールを行い適切に排泄ができるように努めている。適度な運動と食事内容にも気を配り行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週2回入居者に合わせ入浴している。月曜日から土曜日まで入浴日を設けているので、状態・状況に応じて対応している。</p>	<p>利用者は拒否される方もなく、入浴を楽しみにされている。職員はゆったりとした入浴を心がけ、爪切りや皮膚湿疹のケアに努められている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>入居者のペースに合わせて休んで頂いている。居室の温度・湿度に注意し、身体に負担がかからないように個々に応じたクッションを添えている。状態に応じてマッサージなど行っている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の内容・説明等は確認できるようにファイルし、いつでも見ることができるようにしている。重要なこと、変更等はその都度説明し送りノートへ記載し情報を共有している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりに合わせた生活リハビリを支援し、盛り付け・洗濯物たたみ等能力や生活歴を活かして、楽しみのある生活を送れるように努めている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>ホーム近辺へは気軽に出かけられるようにしている。普段行けないような場所などは、年間の行事として取り入れている。</p>	<p>外出時は利用者の意志の確認と楽しく出かけられる様に「身だしなみ」を整えて外出支援に努められている。外出時間と身体的配慮も留意されている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人が直接お金を持つことはないが、預り金としてホームで管理している。希望があれば職員が購入したり、一緒に出かけた時に確認し使えるように支援している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望がある時や必要に応じて、本人が電話を行いたい話ができるように、又、やり取りができるように支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の場（リビング）で過ごすことが多い為、居心地が良い空間づくりに配慮し、身体的に心地良い温度・湿度設定や四季折々のものが感じられるよう工夫している。</p>	<p>保育園の交流写真の掲示や行事における利用者の楽しい表情が窺える写真が掲示され、テレビの音量・カーテンの斜光等落ち着いて過ごせる雰囲気がある。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>仲のよいもの同士近くで過ごしている。又、思い思いに自分の部屋へ戻り、ゆっくりとも過ごされる。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人が使い慣れたもの、家族・知人からの贈り物など、安心して過ごして頂けるように工夫している。	筆筒の上に飾られた家族の思いの品の持ち込みと、家族との写真の掲示で安らぎがえられる雰囲気がある。整理整頓と掃除も行き届いている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	物の配置に注意し、又、言葉と印で見やすいように、わかりやすよう掲示し自立した生活が送れるように支援している。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない